平成19年度(対18年度実績) 事務事						事	業	評	価	表	作,	成日 平成 19 年	三 6 月 5 日
部局名 安全環境部 所属名 クリーン推進課							所属	長名	林 昭雄	電	話 483-1151 内紙	ł3220	
1. 事務事	業の位	置付け・概要	要(PL	AN)									
コード 4034 事務事業名称 清掃センター場内整備事業										短網	コード 経常	臨時 4034	
予算区分 会計 01 一般会計 款 04 衛生費							項	02	清掃費	目	02 塵芥処理費	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
区分] 自治事務] その他	5 □ 法定	三受託事務	根拠	』法令等								
事業概要(事務事業を	を開始したきっか!	ナを含めて	記入)									
旧3号焼却炉	解体工事分	完了後において、 i	清掃センタ	ーへのご	みの搬入日	出における	安全確保	呆を図る	ため場	内整備工事を	☆行う。		
事務事業を	取り巻くり	∜況の変化 又、⁴	今後の変化	の推測			5本の柱(章) 03 安全・環境共生都市をめざして						
場内整備工事 保される。	事を行うこ	とにより、より円]滑なごみ排	般入出車両	可の経路が	確	大項	目(節)	0	3 環境・徫	5生		
						総合計	中	項目	0	2 ごみ処3	理		
					画の施策	小項目	目(施策) 0	2 環境に	配慮した適正なごみ	4処理の推進		
					体系	細	項目	0	2 焼却施	設等の整備			
								計画(
計画事業の位	位置付けの	有無		計画	事業期 [間 平成	₹18年1月	~	平成18	年7月 :	十画事業費		千円
2. 事務	事業の国	目的・指標・	実績(DO)									
対象 (誰を何を対 ているのか)		清掃センター											
手段 (具体的な事 のやり方、手		※平成18年度に実 平成17年度繰	越事業によ	り清掃セ	ンターのこ	ごみ搬入車	重両の出力	入口並び	に場内	の搬入出路の)整備を行った。		
細)	T IIR C OT	※平成19年度に計 平成18年7月	30日竣工	-									
意図 (何を狙って か)	こいるの	ごみの搬入搬出に	こ対する安	全確保									
結果 (どんな結果 つけるのか)	具に結び	ごみの搬入搬出	が安全に行	たえる。									
区分								単位	1	7年度 実績	18	年度 実績	1 9 年度 計画
	指標 1	清掃センター搬	入搬出路網]整備工事			千	円 円		13, 700	33, 094. 337	33, 094. 337	0
対象指標	指標 2												
	指標3	3											
	指標 1	工事進捗率					%			20	80	80	0
活動指標	指標 2												
	指標 3 指標 1	0					0			0	0	0	0
成果指標	指標 2									U		U	U

%

t

9, 034

23.8

63, 652

指標3

指標 1

指標3

上位成果指標 指標 2

市民一人一日当たりのごみの排出量

リサイクル率

一般廃棄物処理量 (年)

⊐ -	- ド 4034	事務事	業名称	清掃センター場内整備事業		所属:	3 クリーン推	クリーン推進課	
単位				17年度	1 8		19年度		
				実績	計画	実	責	計画	
		国	千円						
	財源内訳	県	千円						
		地方債	千円						
_		一般財源	千円	14, 183	33, 094. 337		33, 094. 337	0	
事業		その他	千円						
費 (A)	主な事業費の内訳			清掃センター場内整備工事	清掃センター場内整備工事 32,290千円 電気工作物移設補償金 804.337千円	清掃センター場 32,290千円 電気工作物移設 804.337千円			
人件費(B) =			千円	5, 155. 9	7, 721. 4	2, 952. 7		0	
ト — タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	19, 338. 9	40, 815. 737	36, 047. 037		0	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由由
//L		☑ 結び付いている	「清掃センター場内整備事業」は「環境に配慮した適正なごみ処理の推進」のために実施して おり結びついている。
	①事業目的が上位の施策に結びついているか?	□ 結び付くが見直しの余地がある	
		□ 結びつきが弱い・ない	
		評価対象外事項	
目的妥当性		☑ 達成している	平成18年7月をもって工事が竣工することにより、場内搬入出経路の安全が確保される。
	②すでに所期目的を達成しているか? ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		
		□ 評価対象外事項	
	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	□ 可能性はない	
	(民間委託は、権限に属する事務事業 等を委託することで、民営化とは異な る。)	評価対象外事項	
		□ 現状のままでよい	
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある	
		□ 評価対象外事項	
		有効性向上の可能性がある	
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか?	□ 効率性向上の可能性がある	
	可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある	
	入する。 	□ 可能性がない	
有	⑤-2 有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等	
効 性 •	特別はで別学はでいる。 せる手段は何か? 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効 果を記入する。手段が「類似 事業との統合・役割見直し」 である場合は、該当する類 似事業を記入する。	□ 臨時的任用職員等の活用	
効率		□ IT化等業務プロセスの見直し	
性		□ 受益者負担の見直し	
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 1 実施主体 (所管部署)
		□ 上記以外の方法	事業 実施主体 名称 2 (所管部署)
	5-3 推進にあたっての課題はあ	□ ある	
	るか?(一時的な経費増・市 民の理解等) 	口ない	

コード 4034 事務事業名称		清掃センター場内整備事業		所属名 クリーン推進課					
今後の方向	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	 □ 改革・改善して継続 □ 手法プロセスの改革・改善 □ 事業規模の拡大・縮小 □ 統合・役割見直し □ その他 ② 廃止 □ 休止 □ 現状のまま継続 	本事業は、平成17年度繰越事業により	平成18年度(平成18年7月30日)で完了した。					
性	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理 由を記載する。	A A 削減 不変 低下 □	が確保されが、清掃セン	工事が竣工することにより、場内搬入出経路の安全 ター内での業務内容は今まで通りなので、コストに					
この事務事業に対する市民や議会の意見(担当者が把握している意見) ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など 特に無し									
所属長コメント	属 長 コ メ メ								
評価調整委員会意見	□ 改革改善して継続 □ 手法プロセスの改革・改善 □ 事業規模の拡大・縮小 □ 統合・役割見直し □ その他 ☑ 廃止 □ 休止 □ 現状のまま継続	上決定事業。所期目的を達成してい	ることにより廃止とすべき。						